

「植物も病気と闘っている！」

— 植物の免疫やセンチュウとの攻防 —

【講演者】

龍谷大学 農学部 植物生命科学科 教授 浅水 恵理香
准教授 別役 重之

世界中が新型コロナウイルスと闘う大変な時ですが、植物もまた様々な病原体と闘っています。植物も病原微生物の感染で病気にもなりますし、その防御のための免疫システムも持っています。免疫が起きている様子を可視化し、植物の免疫の全貌や、植物と微生物の相互作用を明らかにしようとしています。また、農作物に深刻な被害をもたらすセンチュウに対して、植物も防御応答をしますが、センチュウは防御システムを巧みに掻い潜って、侵入します。センチュウの感染戦略を明らかにすることにより、センチュウ被害の安全な制御方法の開発に繋がりたいと考えています。

本講演が、植物の免疫賦活やセンチュウの防除などの新しいビジネスのヒントになれば、と期待しています。

【日時】 2021年 2月 4日 (木) 15:00~17:00

【開催方法】 ZoomによるWeb開催 (事前のZoomアプリのダウンロードを推奨します)

【申込方法】 裏面ご覧ください。 【参加費】 無料

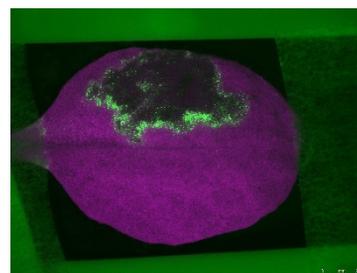
講演概要

開催の挨拶 (15:00~15:10)

1 「視覚でとらえる植物の免疫」 (15:10~16:05)

龍谷大学農学部 植物生命科学科 准教授 別役 重之

農業現場での病害防除には植物が持つ免疫システムの理解が必須である。我々は植物免疫応答を「見える化」することで、植物がさながら戦略ゲームの布陣のように感染部位周辺に異なる免疫応答を順次展開している様子を捉えることに成功した。感染現場での植物-病原体間の攻防を「実写」で紹介する。



植物免疫応答活性化の様子

2 「植物に対する有害線虫の感染戦略」 (16:05~17:00)

龍谷大学農学部 植物生命科学科 教授 浅水 恵理香

線虫は、地球上で最も生息数の多い動物である。植物に寄生する線虫種は作物生産に甚大な被害を与えており、世界の年間被害額は17兆円と試算されている。本講演では、植物の防御機構を掻い潜って侵入する線虫の感染戦略を紐解き、防除に利用する試みについて紹介する。

サツマイモネコブセンチュウのJ2幼虫 (体長0.5 mmほど)



- 【注意事項】**
- ▶ 本講座はオンライン（Zoomウェビナー）で実施いたします。
 - ▶ インターネットに接続されたスマートフォン、パソコン、タブレットでご参加いただけます。
※Wi-Fi環境など高速通信が可能な電波の良い所での視聴をお願いします。
 - ▶ 講演をリアルタイムで配信し、質疑応答の時間も設けます。
 - ▶ 締切日以降にメールにて受講用URLとパスワードをお送りいたしますので、メールに記載されているURLから受講してください。
 - ▶ 本講座の講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次加工は一切禁止しております。
 - ▶ 通信状況等により視聴できない場合がありますことをご了承ください。

【申込方法】 締切：2021年1月29日（金）

こちらのサイト（<https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/biz-net-202002/>）からお申し込みください。

また、以下のマツに必要事項をご記入の上、E-mail（rec@ad.ryukoku.ac.jp）もしくはFAX（送付状不要、077-543-7771）でもお申し込みできます。



会社名			
所在地	(〒 -)		
TEL		E-MAIL	
所属		役職	
氏名		E-MAIL	
所属		役職	
氏名		E-MAIL	

※ 3名以上ご参加される場合、お手数ですが本紙をコピーしてお申し込みください。

※ 記入いただきました個人情報、本学プライバシーポリシーに基づき、厳重に管理いたします。ただし、今後本セミナーに関係する連絡等が共催先である公益財団法人りそな中小企業振興財団から送付される場合がありますことをご了承ください。